

『ゆとりと活力、そして調和のとれた「幸田」のまちづくり』

さこう弘康

町政レポート



2012.1 No.20

発行：さこう弘康 後援会

〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山5 TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918

～ご挨拶～「本年もどうぞよろしく申し上げます」

2012年



皆様には、輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。日ごろは格別なご支援をいただきありがとうございます。

昨年は、東日本大震災や大きな風水害など歴史に残る一年となりました。これらを「教訓」として、安心・安全なまちづくりを進めるため、皆様の声をしっかりと受け止め、町政に届け「さらに住みよい魅力ある幸田の町づくり」の実現に向け、一層の努力をして参ります。皆様の益々のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げます。

幸田町議会議員 酒向 弘康

議会報告 12月定例会

平成23年12月定例会は12月5日に召集され、22日までの18日間開催されました。単行議案8件、補正予算1件の9件が上程され、いずれも原案通り可決しました。その他陳情1件を審議し、不採択としました。また、追加上程された、固定資産評価審査申出決定取り消し請求事件の第1審判決について、控訴の提起を議決しました。

単行議案 (主な議案のみ掲載)

暴力団排除条例の制定について・・・(全員賛成)

健全な社会活動の発展と安全で安心な地域社会の実現を図るため制定する。

<概要> 暴力団への非協力、非交際などを規定し、暴力団の排除を推進することを基本理念とし、町・町民・事業者の責任を定める。

<施行日> 県内の他市町村の状況 37市町村が制定(予定を含む)

公共駐車場条例の一部改正について・・・(全員賛成)

相見駅駐車場の開設と幸田駅西第1駐車場改修に伴い改正をする。

<概要> 幸田駅西第1駐車場: 1日利用回数券:5,000円・半日利用回数券:3,000円を廃止。

代替として新規に5,000円分のプリペイドカードを発行。

相見駅駐車場使用料:6時間以上24時間未満 500円 6時間未満 300円

定期:1ヶ月 4,000円 3ヶ月 12,000円 6ヶ月 24,000円



財産の取得について・・・(全員賛成)

町職員用の高度情報化パソコンの購入

<概要> 全台数がリース満了のため、買取りにより取得する。

内訳:270台、契約金額:4,305万円、納期:平成24年1月31日



引き続き、行政運営のチェックに努めます!

<質問の要旨> 3月11日に発生した東日本大震災以降、全国各地で「防災に強いまちづくり」が、行政と地域の協働で推進されているなか、「人の命を守る施策と教育」について質問をしました。



(12月8日の中日新聞より)

質問：「AED」設置のさらなる拡大を！

「救える命を救う」AEDの設置が急速に広がっており、官民あわせて、全国で32万台を超えている。いつでも、誰でも使えるよう、更なる設置の拡大が必要であり、その取り組みについて町長に質問。

Q1：町内での設置状況と使用事例は？

A:公共施設32箇所に41台を設置。
スイッチON事例は3件。

Q2：近隣市町と比較した設置状況は？

A：公共施設設置率は84%（岡崎・西尾市は100%）

Q3：町内の駅や交番、駐在所にも設置すべきでは？

A：まず、公共施設100%を目指し、その後設置要請をしていく。

Q4：AED設置場所をホームページや広報保存版で周知すべき。

A：提案の通り、ホームページで公開し、広報保存版も発行する。

Q5：更なる普及のため、「AEDのレンタル制度」を導入すべき。

A：費用の問題(約 万円/台)もあるが、前向きに検討する。

Q6：24時間営業のコンビニエンスストアなどに設置を。

A：JRやコンビニにも積極的にはたらきかけていく。

Q7：民間・事業所などへの設置助成の制度づくりを。

A：助成制度についても町民の命を守るために検討する。

AED【自動体外式除細動器】とは心室細動を起こした人に取り付け、電気ショックを与えて心臓の働きを取り戻すための救命機器のこと。(機械の音声指示で操作できる)



(小学校体育館のAED)

【参考事例】株デンソーでは、AEDを全国の拠点に75台設置し、過去4年間で、8件の心臓停止によるAEDの使用例があり、うち7件は救助され、現在仕事に復帰されています。

質問：「命の大切さについて」の教育を！

心肺停止患者に対して一時救命処置 AEDの使用と、心肺蘇生をあわせた、BLSと呼ばれる、救命処置行動を学校教育へ取り入れ「命を大切にする」教育を。

Q1：町内の小中学校でBLS教育を推進する計画はあるか？

A：小中学校の教職員に加え、保育園の職員全員が
普通救命講習を毎年受講するように進める。

Q2：学校で夏休みや、親子活動の日などで、救命講習を実施すべき

A：他の市町の先進事例を参考にして学校保健教育委員会の
1つのテーマとして取り上げていく。

Q3：3.11の大震災で、人の命の大切さや重さ、助け合うことの重要性を痛感した。こうしたことを理解させるBLS教育は、いじめ問題の減少や、他者を大切にする子どもの育成につながると考える。小中学校でより力を入れるべきではないか。

A：命の大切さや助け合いの必要性は、教育の基本と捉えて
今後も取り組んでいく。



BLS(ベーシック・ライフ・サポート)とは命が救える「AED講習」や「心肺蘇生法」を幼年期から学ぶアメリカ・シアトルなどでの「命の教育システム」は、大きな成果をあげている。



今後も生活者の目線で、行政に提言・提案をしてまいります！

来年度からの土日・休日保育等実施概要

保護者のニーズ調査の結果、**土日・休日**の保育内容が充実されます。

休日保育の実施・・・平成24年4月8日(日)より開始

対象児童：日曜日、国民の休日、保護者が就業等により保育に欠ける児童。
実施園：菱池保育園 定員：30人 時間：7:30～18:00 給食実施
保育料：月額保育料のうち（追加徴収しない）



土曜日保育時間の延長・・・平成24年4月7日(土)より開始

見直し内容：保育時間を全園とも12時30分まで30分延長。

土曜日終日保育の実施・・・平成24年4月7日(土)より開始

対象児童：土曜日、12時30分以降も保護者が就業等により保育に欠ける児童。
実施園：菱池保育園 定員：30人 時間：7:30～18:00 弁当、水筒持参
保育料：3歳未満児童 1人日額2,500円、3歳以上児童 1人日額1,500円
いずれも、町立保育園在園の実施児。一時的事由では利用できない。



幸田町交通事故「0」連続1150日を記録中ですが・・・
(12/23日現在)

自転車の安全のための交通ルールの再徹底



町内の自転車と自動車の事故16件発生(H23)

(町内の自転車通学のような)

全国で年間約2万件と事故全体の13%近くを自転車が絡む交通事故が占めています。警視庁は、指導・取り締まりに本腰を入れるほか、講習などを通じてマナー向上も図る方針を打ち出しました。方針の中では、自転車をあらためて「車両」として定義し「自転車は車道を走ること」を求めています。自転車と歩行者との事故は、今年町内でも16件発生しています。自転車が走行するその「車道」自体、自転車が走りやすいとは言えません。特に狭い道路が車道を走ることによって新たな事故が増える可能性があります。早急に「自転車の通行環境の整備」を進める必要があります。



「雑想」あれこれ

【人生は、選択の連続】

人生は仕組まれたものではない
幼い頃から周りの多くの人に
作用されながら
人生は組み立てられていきます。
そして人生の分岐点の数は、
数え切れない程おとずれます。
人生は、すべて選択の連続と
言っても過言ではありません。
百人に百とおりの道があります。
その選択した道の先に、また新
たな分岐点が生れます。
あのとき、今来た道と違う道
を歩いていたら・・・
今とは、違う人生のステージに
立っていることでしょうか。
誰もが、それを観てみたいと思
うのですが・・・それは、決し
てみることは出来ないのです。
今、歩んでいるのは、自分が
選んだたった一本の道の上。
過去の分岐点で行く道を誤つ
たと嘆くこと
なく、反省は
いくらししても
いいけれど後
悔のない人生
を送って行き
たい。
つねに前を見
つめながら。



トピックス

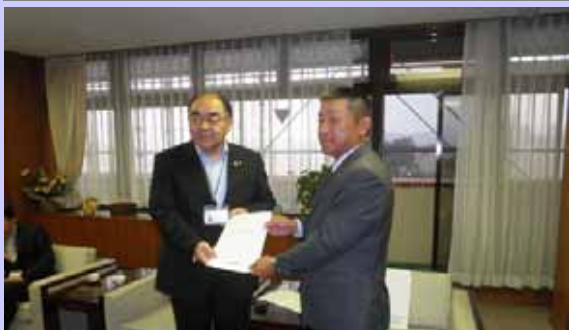
相見駅開業 来年3月17日に決定！ (ダイヤも改正)

岡崎
相見
幸田
三ヶ根
蒲郡

東海道線の幸田～岡崎間に「相見駅」が平成24年3月17日開業します。これに伴い、平日は1日あたり、普通列車上下79本と区間快速(岡崎以東が各駅停車)7本の合計86本が停車します。さらに、ダイヤ改正で平日朝7時台の通勤時間帯の幸田駅に「特別快速」2本が停車します。



幸田町長へ「政策要望書」提出



町長へ 要望書を提出する矢田代表

10月5日、連合愛知三河中地域協議会の矢田代表以下5人とともに、幸田町役場で大須賀町長へ「政策要望書」を提出しました。広く勤労者、町民全体の生活向上と地域の発展のための重点要望を取りまとめ、平成24年度予算への反映も要望し提出しました。

労働講座で役員へ活動報告



活動報告(いなべ市公民館にて)

10月24日、三重県のいなべ市公民館にて、デンソー労働組合の職場役員さんへ「議員活動報告」をさせていただきました。現在直面している地方自治体全体の厳しい財政状況と直近の課題、組織内議員の役割などについてお話をさせていただきました。

情報

日本語を教えるボランティア講座に参加しませんか

とき 平成24年2月4日(土)、11日(土)、18日(土)、26日(日)

時間 AM10:00～12:00全4回

場所 まちづくり会館(幸田駅前通り沿い)

内容 外国籍住民の日本語習得を助けるためのノウハウを学びます。

対象 外国籍住民に日本語を教えるボランティア活動に関心のある人。

(外国語が話せなくても大丈夫です)

定員 20人(先着順、平成23年1月20日(金)まで) 受講料 無料

講師 幸田町国際交流協会(KIA)の日本語ボランティア

KIAは20周年を迎えます



「私も会員です!」

「くらしの相談室」

地域での困りごと、町政に対する ご意見・ご要望等、お気軽に「さこう弘康 くらしの相談室」をご利用ください。
連絡先(事務所) Tel: 0564-56-7727 Fax: 0564-56-7918



ホームページは「さこう弘康」で検索してください。

さこう弘康

検索

メールでもお気軽に!



お願い: 町政レポート配布するにあたり、氏名や住所の間違い、変更がありましたら上記までご連絡ください。